第4号 うみとみらい通信

2026年10月1日発行

燃料油流出と発電機における発火事象について

首都圏CCS株式会社

首都圏CCS株式会社 代表取締役社長 屋 義昭より地域の皆さまへ

このたび、当社が実施するCCS試掘作業現場において、燃料油約37リットルの流出および発電設備の発火・焼損事案が発生し、地域の皆さまにご心配をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

皆さまからの信頼を損なう結果となったことを重く受け止め、再発防止に全力で取り組み、安全を最優先に作業を進めてまいります。引き続きよろしくお願い申し上げます。

燃料油の流出について

- **発生したこと**：8月22日、作業支援船から掘削装置へ給油していた際、給油ホースが破断し、約37リットルの燃料油が海上に流出しました。
- **対応**：銚子海上保安部の監督のもとで海水をかくはんして自然浄化を促しました。なお、海上に流出した燃料油に対し、油処理剤などの薬剤は散布していません。また、発生直後から巡視を行い、海岸への漂着がないことを確認しました。8月23日には、第三管区海上保安本部から流出油の消滅が発表されました。
- **再発防止策**：給油方法を見直し、掘削装置側の強度の高いホースを作業支援船の給油口へ直接接続する方法に変更しました。あわせて、燃料油が海上へ流出しないための防護措置を講じ、関係当局による安全確認を受けました。

発電機における発火について

- **発生したこと**：8月29日、掘削装置上に設置されている発電機の吸気系統に過剰な負荷がかかり、内部が高温状態となったことから、発電機の吸気フィルター（紙製）から発火しました。
- **対応**：直ちに二酸化炭素消火器にて消火しました。
- **再発防止策：**発電機の総点検と部品交換を行い、専門家による原因究明と安全確認を実施したうえで、9月6日に掘削作業を再開しました。

近隣住民の皆さまには、ご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。今回の事故が発生した作業以外においても、当社は安全確保のための3つの取り組みを“改めて”徹底いたします。

1. **設備の点検・確認**：使用する設備や機器の点検を強化します。
2. **作業手順の確認**：作業前のリスク確認と安全手順の遵守を強化します。
3. **異常時の迅速な対応**：異常を確認した場合は、直ちに作業を停止し、関係機関とも連携して対応します。

調査作業期間の変更について

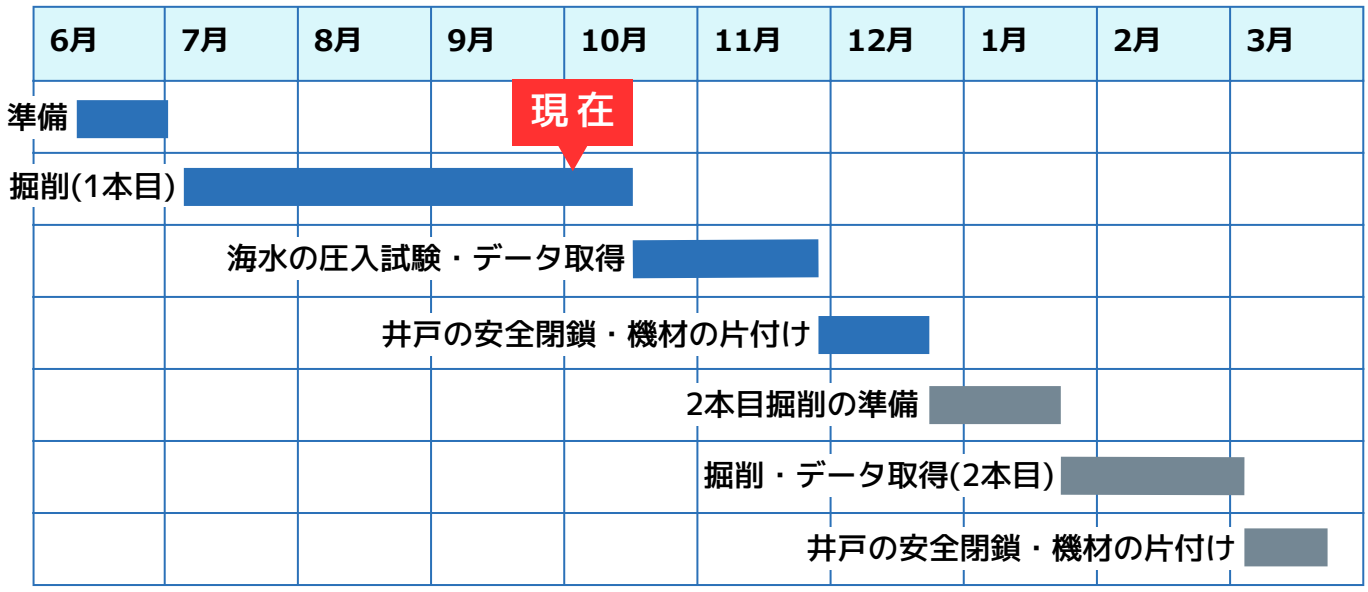
九十九里沖で実施している掘削調査について、作業スケジュールを変更しました。
変更後の予定と理由をお知らせします。

掘削調査地点	変更前	変更後
1本目掘削(沖合約5km)	2026年7月～10月(4ヶ月)	2026年7月～12月**(6ヶ月)**
2本目掘削(沖合約13km)	2026年10月～2027年1月 (3ヶ月)	**2027年1月～3月**(3ヶ月)

変更の理由

- 掘削装置の到着後、悪天候などにより待機期間が生じたため
- 掘削装置の着底作業に時間を要したため
- 8月に発生した発火事案を受け、安全確認や再発防止対策の実施に伴い、一時的に作業を停止したため
- 掘削作業とデータ取得期間の見直しのため

今後の作業状況や海象条件により、スケジュールを変更する場合があります。新たな変更が生じた場合は、速やかにお知らせします。
引き続き、安全の確保を最優先に、関係機関、関係自治体、漁業関係者および地域住民の皆様に対して作業状況を丁寧に説明しながら、作業を進めてまいります。



コミュニケーションセンター「うみとみらい」

営業時間：10:00～16:00　休館日：火曜日、水曜日、年末年始
スタッフが常駐しております。
お気軽にお立ち寄りください。
※2026年10月5日（月）は臨時休館。
施設運営上の都合等により、
休館日以外に臨時休館となる場合がございます。

発行：首都圏CCS株式会社 社会共生ユニット
千葉県千葉市中央区問屋町1-35
お問い合わせ：043-375-6531(受付時間：平日 9:00～17:00)
https://mccs.inpex.co.jp/contact/form.php

お問い合わせフォーム